

ご挨拶



公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
理事長

有森裕子

2017年第18回スペシャルオリンピックス日本・神奈川夏季地区大会が盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに皆様のご尽力に深く敬意を表します。

今年は9月から11月にかけて大会を開催し、複数競技のプログラムに参加しているアスリートたちに、それぞれの競技においてトレーニングの成果を発表する場が設けられたと伺いました。全競技を同じ日に実施していた例年と比べ、チャンスが広がる素晴らしい挑戦だと思えます。さらに、柔道、卓球、バスケットボールに初めて他の地区組織が招待されているとのこと、より一層の盛り上がりを期待できるでしょう。特に、柔道は、プログラムを開始したばかりの大阪と広島からの参加があり、いつも応援する側のコーチやファミリー、ボランティアの皆様もこの晴れの舞台を楽しみにされていることと存じます。アスリートの皆さん、自分の可能性を信じ、勝利を目指して頑張ってください。

スペシャルオリンピックス（SO）は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けてスポーツへの機運が高まる潮流に乗りつつ、地域のコーチやパートナーと共に、知的障害のある人たちへ質の高いスポーツトレーニングと競技会を提供しながら相互理解や友情を深めることで、ソーシャルインクルージョン（包み込む社会）の実現を目指しております。本日、初めてご参加いただいた皆様の心にも何か響くものがあることを信じ、本大会を機にスペシャルオリンピックス日本・神奈川（SON・神奈川）の活動の輪が、さらに大きく、温かく広がることを願っております。皆様にSOのファンとしてエールを送り続けていただければ幸いです。

最後に、競技会場をご提供くださいました皆様、大会開催にあたりご支援やご協力を賜りました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます、大会のご成功を心より祈念し、ご挨拶とさせていただきます。